

介護プロフェッショナル

Voice



充実した設備と環境のなか
各分野の専門職が連携し支援

「ふくふく認証」認証事業者インタビュー

令和6年11月15日認証

社会福祉法人 農協共済

別府リハビリテーションセンター



通所リハビリテーション事業所
ふれあい・あおぞら
課長補佐 介護福祉士
中野 千春さん

通所リハビリテーション事業所
ふれあい・あおぞら
課長 理学療法士
伊藤 かおりさん

介護保険事業部
部長 介護福祉士
渡辺 清子さん

経営管理部
経営企画課 課長
菅 直樹さん



「おおいた 働きやすくやりがいのある介護の職場 認証制度」

介護職員の人材育成や就労環境等の改善に取り組む事業者を評価し、
「見える化」することにより、介護業界全体のボトムアップを図り、
介護人材の確保を支援することを目的とした制度です。



詳しくはコチラ

Theme1 「ふくふく認証」について



働く人も利用する人も
笑顔で過ごせる環境づくりが大切

燦
Q.1 ふくふく認証取得のきっかけに
ついて教えてください。

この制度に参加することで、改めて自分たちの業務や取り組みを見直すきっかけになるのではと思い、参加を決めました。

燦
Q.2 認証基準のなかで特に力を
注いでいる点がありますか？

人材育成と職場環境の改善という点です。職員がやりがいを感じ、長く働き続けられるよう、研修プログラムの充実やキャリアパスの明確化を行っています。とくに研修は、定期的なものから外部講師を招いた専門性の高いものまで幅広く実施。資格取得にかかる費用の補助など、キャリアアップを目指す職員をサポートする体制を整えています。また、定期的なミーティングや年3回の面談など、職員が意見や要望を言いやすい環境づくりにも努めています。

燦
Q.3 「ふくふく認証」を、
どのように活用していますか？

今回の認証で、改めて自分たちの職場環境や業務に誇りをもってもらえたらと思います。また広報誌やホームページ内でも、認証授与に関する情報を発信し周知をしたり、送迎車両にも「ふくふく認証」のロゴマークを貼りPRしています。



別府の豊かな自然に囲まれた広い施設。



身体機能や目標に合わせたプログラムを作成。
様々な機器を利用しリハビリを行う。



回復期のリハビリを終えた方や地域で暮らす方が、自分らしく過ごせるよう通所・訪問リハビリでサポートする。

スタッフ全員が大切にしているのは 利用者の心の声に気づけるケア



燦 Q.1 法人設立の歴史や事業の概要について教えてください。

昭和48年にJA共済連が、交通事故などで身体が不自由になった方の社会復帰を支援する医療と福祉が一体となった先駆的な取組みを行うリハビリ施設として開設。さらに平成12年には通所リハビリテーション事業を開始しました。「福祉」「医療」「介護」が連携したリハビリテーションを行っています。

燦 Q.2 通所リハビリテーション「ふれあい」と「あおぞら」の特色はどんな点ですか？

まずは充実した設備と環境面が整っている点です。医師、看護師、介護福祉士、セラピストそれぞれが協業し、利用者さんが日常生活の自立が長く続くようにサポートしています。例えば定期的に体力測定を行い各専門職が利用者さんの状態を把握するとともに、ご家族にも「見える化」して提示している点も特色のひとつです。

燦 Q.3 介護の仕事をするうえで大切にしていることは？

利用者さんの「声なき声」に気づくことを大切にしています。とくに介護福祉士は利用者さんの一番近くで業務する存在。些細な変化も見逃さず各専門職へとつなぎ、とぎれないケアとサポートを心がけています。

燦 Q.4 職員の働きやすさに対して取り組んでいることはありますか？

柔軟なシフトの導入や有給取得の促進、育児、介護休業制度など、職員が安心して働きつつつけられるとともに、ワークライフバランスを考慮した体制や環境を整えています。「困ったときはお互いさま」の気持ちで、職員一人ひとりが支え合いながら業務にあたっています。

燦 Q.5 人材確保にむけ、今後取り組みたいことはありますか？

利用者さんへ質の高いサービスやケアを行うためには、職員が楽しく明るく働ける環境が不可欠です。人材確保においては、職員のスキルアップも大切ですが、今後は人材不足を防ぐために、外国人やシニア層の雇用も視野に入れる必要があると思います。また介護ロボットやICT技術の導入も積極的に行い、業務の生産性や効率化をさらに強化していきたいと考えています。



充実したリハビリ環境



タッチパネルで認知機能を、自転車こぎで運動機能と、2つの機能課題を改善するためのリハビリ機器。



下肢の筋肉を強化するリハビリ機器。広い施設内にはほかにも様々な種類の機器が揃う。

業務の効率化



タブレットやインカムの導入など、ICTを活用し業務を効率化。職員の業務負担軽減にもつながっている。

社会福祉法人 農協共済
別府リハビリテーションセンター

HP



所在地 〒874-8611 大分県別府市鶴見1026-10

電話 0977-67-1711

HP <https://brc.or.jp>